

～日本を、世界をリードする本庄市を目指して!～

吉田しんげのビジョン

総合振興計画の推進
4年後を見据えて

「支えあいとチャレンジ」を推進する 5つのまちづくり

1 誰一人取り残さないまちづくり

困っている方をまるごと支援 安全と安心のまちづくりを



- 福祉総合相談窓口開設、孤独・孤立対策、ケアラー支援、認知症対策、中山間地域買い物支援、子どもの貧困対策（学習支援等）、子ども養育支援、産後健診費用の助成、安心の救急医療
- 自助・共助（近助）・公助による防災体制の充実、犯罪と交通事故〇を目指して
- バリアフリーのまちづくり、免許返納後の交通手段の充実を



2 持続可能な「後のため」のまちづくり

より良き未来への投資 多様な協働で更なるチャレンジを



- 明日また行きたい学校づくり、通学路の安全確保 ●市民・企業の力を活かす協働のまちづくり ●SDGs、環境共生・ゼロカーボン社会、挑戦する本庄農業、持続可能な林業 ●婚活支援、移住・定住促進、公共施設再配置計画見直し、都市連携、早大との連携 ●国道17号本庄道路、県道花園本庄線の整備、国道254号・462号バイパス構想、美しい景観のまちへ、インフラの維持管理と更新



3 賑わいを呼び込むまちづくり

人が集まり、人がつながり、人を活かす 笑顔と力あふれる本庄市を



- 本庄駅北口周辺整備、拠点づくり推進（立地適正化計画⇒本庄早稲田の杜・児玉市街地）、歩いて回れる快適なまち、魅力ある公園、道の駅構想 ●市民・企業の力を活かす協働のまちづくり（再掲） ●新たな産業用地の創出、中小企業の振興、空き店舗の活用
- 文化・芸術の振興、スポーツインフラ充実、障害者スポーツ振興
- 高校生との連携による魅力発見・発信、シティプロモーション推進



4 デジタル社会を見すえたまちづくり

多様な幸せが実現できる みんなのためのデジタル化を



- 1人1台タブレット端末時代に対応した教育環境整備 ●行政DX（キャッシュレス決済、情報システムの全国標準化、定形作業を自動化） ●オンライン申請拡大 ●高齢者のICT活用支援 ●スーパーシティ、自動運転の研究 ●テレワーク推進、ドローン活用



5 コロナに負けないまちづくり (Afterコロナを見すえて)

どんな時代でも感動、生きがい 心のつながりを

- 多様性を保障するダイバーシティ本庄、中高生参画のまちづくり ●新型コロナウイルス感染症対策、心と体と口腔の健康づくり、地域における「心のつながり」回復を ●多様な働き方、創業・副業支援、Afterコロナの観光振興（まちなか・農と食・中山間地域・八高線活用）
- 塙保己一プラン、生涯学習、市民一人1スポーツ ●交通結節点の利便性維持を
- ふるさと納税の推進、対外（国内外）交流と連携、組織・職員の意識改革

